

# 我が家の家庭果樹



大川普及センター  
掛鍋 吉洋

今月は、いちじくの収穫、芽ごぎの方法、秋肥の施肥についてお話しします。

## 1. いちじくの収穫

枝の元の方の果実から熟してきます。果実の先が割れて果肉が見えてきたら収穫期です。

☆試してみてください

いちじくを早く成熟させたい場合は、果実が緑から黄緑色に変わり先端が赤くなってきた時、菜種油などの植物油をスポイトなどで果実の先の目に1、2滴さします。すると、1週間～10日程度早く成熟します。

## 2. 芽ごぎ

穂木を貯蔵せずに、生育期の芽をとってすぐに接ぐ方法です。成功すれば、1本の樹で数種類の品種を楽しむことができますので試してみてください。

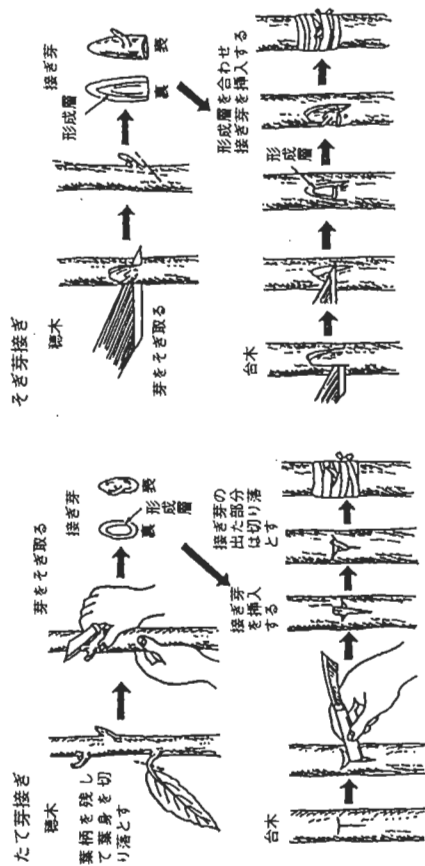
用意するもの：接ぎ木テープ、よく切れるナイフ

品目：モモ、ウメ、スモモ、ナシ、リンゴなど

時期：8月下旬～9月中旬

穂木：接ぎたい品種の新梢を葉柄を残して葉を切り落として調整します。

台木：春から伸びた勢いのよい枝を選びます。



芽接ぎの手順

(「農業技術大系」より)

## 3. 施肥

秋肥

収穫後(9月中旬～10月中下旬)の秋肥は、果実成熟により弱った樹に勢いをつけ、葉機能の回復や秋根の伸長を促進して来年の貯蔵養分を多く蓄積させるために施肥肥料です。しかし、やり過ぎると新梢が再び伸びて養分を浪費してしまいますので注意して下さい。

☆施肥の基本は

果樹類は、草花や野菜などと違って貯蔵養分をもち自らの体内で栄養調整をしているため、やり過ぎると樹勢が強くなり過ぎて失敗することがあります。

また、幼木期に肥料が多いといつまでも落ち着かず果実が成り始めるのも遅くなります。

樹種別施肥設計表(成木期)

化成肥料(10-8-6)を使用した1㎡当たりの施肥量の目安

樹種	施肥時期	施肥量(g)	樹種	施肥時期	施肥量(g)
アケビ	ほとんど必要なし		ザク	ほとんど必要なし	
アンズ	1月 8月	70 20	スグリ・フサスグリ	12月	70
イチジク	1月	120	スモモ・ブルーベリー	1月 8月	100 40
ウメ	3月 8月	100 40	ナシ	1月 10月	40 100
オリーブ	2月 10月	150 60	ナツメ	12月	100
カキ	9月 12月	40 100	ビワ	8月 12月	70 70
カンキツ類	2月 10月	150 60	フェイジョア	10月	30
キイチゴ	12月	70	ブドウ	9月 12月	60 70
キウイフルーツ	12月	100	ブルーベリー	12月	30
ギンナン	ほとんど必要なし		マルメロ・カリン	12月	80
グミ	ほとんど必要なし		モモ・ネクタリン	9月 12月	30 110
クワ	1月 9月	70 30	ヤマモモ	ほとんど必要なし	
クルミ	1月	80	ユスラウメ	ほとんど必要なし	
クランボ	7月 12月	20 70	リンゴ	12月	130

※大まかな肥料の目安 男性ひとにぎりは50g、女性ひとにぎりは40g

(「庭先でつくる果樹33種」より)

## コーヒータイム

果物を食べると肥る、肥らない? これには人それぞれの意見があると思いますが、カロリーで比較してみましよう。たとえばポテトチップスの中型袋80gは444キロカロリーですが、これは120gのみかん12個、または300gのカキ3個に相当するそうです。こう考えると、果物は肥るほど食べるのは困難ではないでしょうか。